

平成25年度 第10回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)10月29日(火)
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 中原公民館 大ホール
- 3 テーマ 中原地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者10名 傍聴者9名



中原公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様こんばんは。夜分遅くお忙しいところ、足元も悪い中、ほっとミーティングに御参加いただき誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

中原公民館でのほっとミーティングの開催は2回目になります。私は平成23年4月に就任させていただきましたが、就任直前の3月には東日本大震災がありました。そこで、平成23年度は市内4か所にて防災対策をテーマにほっとミーティングを開催させていただき、その中の1か所がこの中原公民館でした。東日本大震災は、行政や市民の皆様の安心安全のあり方を問い直す機会になりました。特に、海岸地域の津波対策には十分配慮し、力を入れて取り組んできました。市民の皆様の生命や財産を守ることも、行政の大きな役目です。今後も防災対策については、強化を図っていきたいと考えます。

防災対策とともに取り組みたいことが、市民の皆様とのまちづくりです。平塚市の各地域には歴史や文化、人材など豊富な地域資源があります。地域の皆様が地域の課題を捉えてまちづくりに取り組んでいただくことで、平塚市は市民の皆様が主人公のまちになります。地域の皆様の活動によって地域は輝き、地域の集合体である平塚市はより素晴らしいまちになると考えています。そこで、平成24年度からのほっとミーティングは、地域のまちづくりをテーマに地区自治会連合会単位にて開催させていただいています。皆様からいただく御意見を真摯に受け止め、市政への反映を考えさせていただきたいと思います。

本日は皆様の御意見に対し、できる限り私がお答えさせていただきますが、中にはこの場でお答えできないこともあるかと思えます。その際には一旦持ち帰り、担当課に確認して皆様にお返しさせていただきます。本日は忌憚のない御意見を賜りますようお願いいたします。

6 主な対話集会の内容

① 地域の活動について

【参加者】

行政サービスや自治会組織は、すべての地域住民に関わることです。また、行政サービスにおいて、すでに自治会組織は市役所の一部でもあります。地域のまちづくりや防災対策を進めるためには、行政と自治会組織の連携や支援が大変重要です。

【市長】

平塚市には27の地区自治会連合会があり、その中に230以上の単位自治会があります。自治会には、地域活動の中心を担っていただいています。役員の皆様には大変御苦勞をおかけしていますが、本当にありがたく思っています。自治会では自主防災組織も編成し、地域の防災訓練の実施など、防災対策にも御尽力いただいています。度々、行政からの回覧物が多すぎて役員の皆様には御迷惑をおかけすることがあるので、御負担をかけすぎないように十分注意していきたいと思えます。また、行政は地域の活動のための交付金を自治会にお出しし、地域の取り組みをお支えさせていただいています。今後も、行政とともに、平塚市のまちづくりに取り組んでいただけたら本当にありがたいことです。

【参加者】

中原地区に住んで30年以上になります。成長期には人口も増えてまちも広がりましたが、今の課題は人口の減少と高齢化です。自治会も同じ課題を抱えています。自治会は任意組織のため、加入は個人の自由です。全国的にも自治会への加入率は減少していますが、自治会の縮小は地域の活動に大きく影響します。

【市長】

市内全域で自治会は組織されていますが、加入率は下がり、現在は約76パーセントの加入率です。防災やごみに関わる市や地域の大切な情報など、自治会加入のメリットを理解していただくことが必要です。会員増加のために宅地建物取引業協会とは協定を結び、不動産を紹介する際には自治会への加入を促していただく取り組みも行っています。防災や高齢化への対策のためにも、自治会の加入率が上がって地域のつながりを深めていただきたいと思います。

【参加者】

子ども会の加入率も下がり、地域の行事への子どもの参加は減っています。お祭りなどが盛り上がるためには、子どもの参加が不可欠です。原因は親の負担だと思います。子どもがいる世帯が減少して親は何度も役員を行う必要があるため、子ども会への加入をためらってしまいます。自治会と同様、子ども会の維持についても、これからの大きな課題です。

【市長】

自治会と同様、子ども会への加入も減っています。地域の行事を行う際、子ども会の存在は非常に大きなものです。今、青少年問題協議会において、子ども会のあり方の検討を重ねています。御意見のとおり、課題は親の負担です。自治会の皆様に御負担をおかけしすぎてはいけないのですが、親の負担を軽減するため、自治会役員が子ども会役員を兼ねる方法も提案されています。行政も、自治会への勧誘と同様、子ども会加入のメリットをお示しし、アピールしていきたいと考えます。

【参加者】

9月14日と15日に中原地区のお祭りがありましたが、14日は中学校の運動会と重なったため、太鼓保存会への中学生の参加は例年に比べて減りました。中学生には、小学生の指導的な役割が期待されます。また、地域の行事に参加した子どもは、将来地域で活躍してくれる人材に育ちます。学校も含め、地域社会とのつながりを大切にする教育に取り組むべきです。

【市長】

私も、小学校や中学校のPTAに参加しました。子どもには家庭での教育が一番重要ですが、地域愛を育むためにも、学校や地域を取り込んだ教育が必要です。教育委員会では、地域の文化や歴史を学ぶ取り組みもはじまっています。土屋地区の神奈川大学や金目地区の東海大学には御協力いただき、地域の大学生が子どもの活動に参加する取り組みが行われている地域もあります。

【参加者】

中原地区の魅力は何かと考えています。住環境でいえば、総合公園が近くとても良い環境です。地域が一致団結して取り組むお祭りもあります。このような地域の魅力が広がり、平塚市や湘南、日本の魅力につながってほしいと思います。中原地区の魅力を感じてもらい、この地域に住みたいと思ってもらうことが一番の理想です。決して行政だけでなく、地域住民も一緒に取り組み、魅力を広げて発信するべきです。

【市長】

中原地区は中原御殿に象徴される歴史に培ったまちです。東京都まで続く中原街道や川崎市にある中原区などの起源は平塚市の中原といわれています。御意見のとおり、歴史がある地域のお祭りもあります。私は市内各地のお祭りに伺いますが、中原地区ほどの山車（だし）を見たことはありません。大人から子どもまで、一緒に協力しながら山車を引くことは本当に素晴らしいことです。地域の盛り上がりのため、地域の皆様が志を高く持って取り組むことも、中原地区の大きな魅力です。今後も、より盛んに発展してほしいと思います。

【参加者】

中原地区も高齢者が増えました。中原公民館で住民票の写しや印鑑証明の発行ができれば、住民サービスの向上とともに、公民館の利用が増えると思います。

【市長】

高齢者の方が生き生きと生活するため、お住いの地域で様々なサービスを受けることができるコンパクトシティ化が求められます。行政サービスがどれだけ近くにあるかということも、高齢化社会の課題になります。現在、中心街を取り囲む地域の公民館においては、証明発行窓口があります。利便性向上のため、この中原公民館を含めた他の公民館への窓口の設置を考える必要はあります。

公民館の活用という点では、平塚市は全国でも珍しく、概ね小学校区に1館ずつ公的な公民館があります。他市町においては、多くても中学校区に1館程度です。平塚市の公民館は行政が立ち上げ、地域の方に館長を担っていただき、市職員を配置しています。この地域ごとにある公民館を活用しない手はありません。私は市職員の頃、公民館主事として5年間勤めた経験があります。当時から、公民館には地域の様々な情報が集まり、多くの活動が行われてきました。その公民館を中心として、地域の課題を地域の取り組みで解決する仕組みづくりを進めたいと考えています。難しい言葉ですが、平塚市内の地域内分権が確立できれば、地域ごとにまちを動かしていくことができます。市からは地域の活動のための予算をお出しすることも考えていきたいと思っています。そのために、公民館のまちづくりセンター化についても、今後力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

② 防災・防犯・安全について

【参加者】

先日の台風の時、渋田川に近い御殿4丁目の自宅周辺道路は冠水してしまいました。市役所に電話が繋がらなかったため、近隣住民と一緒に人や自動車の誘導を行いました。また、この地域には渋田川があります。大雨の度に、川が氾濫するのではないかと心配になります。これからは、台風を含めた大雨による災害への対策が必要です。また、伊豆大島では災害対応の遅れによる被害が問題視されています。平塚市の災害対応の現状についても聞きたい。

【市長】

台風の際には大変御心配をおかけしました。時間50ミリメートルの大雨に対応できるよう、排水機能を高める対策を進めてきましたが、最近では時間100ミリメートルに及ぶような大雨も降るようになりました。松が丘公民館にて開催したほっとミーティングでは、大雨による深刻な浸水被害のお話を伺いました。そこで、ポンプによる汲み上げなど、低地で水が溜まりやすい地域の排水対策を進めるように指示させていただいています。既に把握していると思いますが、お話いただいた御殿4丁目の状況についても、担当課にお伝えさせていただきます。

災害対応について、昨年4月と今年7月、大雨によって金目川の堤防が一部損壊してしまいました。河川の管轄は県になりますが、市民の皆様の安心安全対策は平塚市が責任を持って行う必要があります。ゲリラ豪雨等による急な河川水位の上昇などを受け、現在平塚市では職員の配備などを1段階早く行っています。先日の台風の際には、地域の皆様の自主避難先となるよう、地区公民館の開放も行いました。

【参加者】

先日の台風の後には渋田川の様子を見ると、増水した川の水が水門を越えて低地に浸水したようでした。大雨によって川は増水し、地域から流れる雨水を受け入れきれない状況です。川に流れ込む水量を増やすためにも、川底を掘り下げる浚渫工事が必要です。

【市長】

御意見のとおり、川底が高いため、増水によって水位は高くなりやすくなっています。金目川は天井川と呼ばれ、増水時には土手の外側の地域の方が低くなってしまいます。渋田川や鈴川にも同様の心配があります。金目川と同様に県に対しては、渋田川や鈴川の浚渫工事の要望を続けていきたいと考えます。

【参加者】

御殿は農地や駐車場が多く、夜になると暗い場所が多い地域です。防犯街路灯などの明るさによる防犯対策には効果があります。しかし、電力会社による電気料金の値上げは大きな課題で、節電に取り組む必要があります。そこで、LED化や人感センサーによって明かりを点ける方法も考えられます。防犯街路灯の設置間隔や照度の基準、今後の計画について聞きたい。

また、一戸一灯運動は良いアイデアなので、もっとPRしてほしいと思います。

【市長】

まちの明るさは防犯対策になります。街路灯には市で管理する防犯街路灯と道路照明灯、自治会が管理する防犯街路灯、商店街が管理する商店灯があります。商店街が商店灯を維持することも難しくなり、自治会への移管の話もありますが、行政も安心安全のために適正配置を考えていきます。他の地域でのほっとミーティングにおいても、LED化による節電の必要性を伺いました。行政は自治会の防犯街路灯の設置や維持への補助をさせていただいています。詳しい設置間隔や照度の基準、計画については、担当課に確認させていただきます。夜、各家庭が1つ灯りを灯すことでまちは明るくなり、犯罪を防ぐ効果があります。一戸一灯運動のPRには、力を入れて取り組んでいきたいと考えます。

また、今、防犯カメラが話題になっています。中心商店街では設置しているところもあって犯罪抑制効果が高いものですが、個人情報やプライバシーの観点から、住宅地に設置することは難しい現状です。しかし、市民の皆様の安心安全のための防犯対策として、防犯カメラの設置についても、今後の検討課題として捉えていきたいと考えています。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

本市管理の防犯街路灯は、概ね電柱1本おきの設置間隔となるように整備しており、照度の基準は特に設けていませんが、地元自治会や町内会からいただいた個々の要望箇所の状況を踏まえて適宜判断しています。

また、防犯街路灯の省エネ化については、現在LED灯への交換を順次行っているところであり、今後、大幅に加速化出来るように検討してまいります。

一戸一灯運動についても、引き続きPRしてまいります。

（事務担当は危機管理課危機管理担当）

【参加者】

中原地区は歩道やガードレールがない道路が多いため、通学路も大変危険です。特に中原橋は小・中学生や高校生、自動車の利用も多く、旗振りを行う母親も危険を感じるほどです。スペースがないようであれば、道路のカラー舗装など、運転手に危険を認識させる対策も良いと思います。

【市長】

最近も通学中の子どもの列に自動車が突っ込む事故がニュースになりました。このような事故は決して起きてはいけません。以前、国からは通学路の危険箇所の調査があり、調査によって学校から報告があった場所の対策を続けています。地域の皆様からも、危険な場所の御報告をいただければ、対応を考えさせていただきます。また、各地域では、登下校時の見守りを行っていただき、交通事故や犯罪の防止につなげていただいています。ハード面の整備では、横断歩道前をカラー舗装し、自動車の運転手への注意喚起を行うモデル地区もあります。この取り組みについては、今後、市内各地域に広げていきたいと考えています。

③ 環境について

【参加者】

平塚市における自然環境の整備は、川が対象になるのではないのでしょうか。中原地区には鈴川や渋田川、金目川もありますが、決して水に親しむ環境ではありません。水は汚れ、中州は荒れ放題、土手は雑草だらけです。河川の管理は国や県ですが、この環境に住むのは平塚市民です。例えば、秦野市の水無川はとても整備されています。川沿いには遊歩道があり、草木が整えられ、流れている水もきれいです。川の汚れは平塚市だけでなく、上流地域の問題でもあります。子どもが水に親しむことができる河川の環境を整えてほしいと思います。

【市長】

南原地区に伺った際にも、河川環境の御意見をいただきました。土手の整備は進んでいるが、木や雑草が多く、まだまだ水に親しむ環境ではないとのことでした。確かに、この鈴川や渋田川の中州や土手には雑草が生い茂っています。昔から地域に親しまれてきた川なので、防災対策に関わる土手の整備や浚渫工事とともに、子どもが水に親しめる環境が整うよう、県と協調しながら考えていきたいと思っています。

【参加者】

ごみの対策は、市内どの地域においても大きな課題です。この地域のごみの収集時間が午後であることも原因ですが、集積所に集まるごみはネットに収まらずに道路へはみ出して散乱しています。ネットを大きくしてごみを散乱させないことも必要ですが、大きくなったネットや道路にはみ出して散乱したごみには別の問題があります。高齢者の転倒や子どもの事故です。集積所で増え続けるごみにより、地域では難しい課題を抱えています。

【市長】

ごみの収集は市内全域を計画的に行っているため、早急に時間帯を変更することは難しいことですが、集積所のごみが散乱してしまうことは課題です。ワゴンのようなものを集積所に配置することも考えられますが、今はネットによる対応をお願いしています。ネットが小さいようであれば、大きなものを用意させていただきますので、御連絡くださるようお願いいたします。確かに、高齢者の方や子どもの危険は心配です。ごみの量が増えて道路にはみ出すようであれば、集積所の位置の検討も必要かと思っておりますので、御相談くださるようお願いいたします。

この10月から大神地区の新しい環境事業センターが稼働しました。この環境事業センターでは、平塚市だけでなく、大磯町と二宮町のごみ処理も行っています。この環境事業センターを安定的に運転するため、センターに運び込まれるごみの量を減量化や資源化によって減らす必要があります。どの地域でもお願いすることですが、今後のごみの減量化や資源化への御協力をお願いいたします。

④ 子育て・福祉について

【参加者】

小学生の子どもがいます。総合公園は施設が整った良い環境で、中原地区の子どもを持つ家庭の遊び場になっています。しかし、1番困っていることはトイレです。総合公園のトイレは汚くて暗く、怖いイメージがあります。子どもを一人でトイレに行かすことはできません。体育館のトイレでは、不審者騒ぎもありました。中原地区だけでなく、平塚市の憩いの場でもある総合公園なので、防犯や衛生の観点からも、トイレの改修や適正な維持管理をお願いします。

【市長】

総合公園のトイレの衛生管理や明るさに関する御意見は多くいただいています。担当する総合公園課では対応していますが、再度御意見をお伝えさせていただきます。公園には、都市公園法に基づく緑化率や施設の大きさに関する基準があります。早急に建て替えや改修を行うことは難しいことですが、今あるトイレの清潔さや明るさへの対応については、担当課に確認させていただきます。

総合公園は平塚市の宝で、様々な役割を担う公園です。高齢者の方の健康づくりや子どもの遊び場としても活躍しています。防災の拠点でもあり、有事の際には自衛隊や警察の拠点基地になります。広場では、ドクターヘリの離着陸を行うこともできます。御意見のとおり、総合公園の維持管理も大切な課題です。今回、平塚競技場はネーミングライツとして、企業に命名権を買っていただき、「Shonan BMW スタジアム平塚」となりました。同様に、ひらつかアリーナは「ひらつか サン・ライフアリーナ」、次は野球場や海岸のビーチにもネーミングライツを導入する予定です。このように、市民の皆様にご負担がかかりすぎないように、予算を生み出して管理費に充てる工夫をはじめています。

今、平塚市では3大事業を進めています。環境事業センターは完成して稼働し、市役所新庁舎は来年5月に第1期工事が完了します。庁舎建設の予算は、平成元年頃から積み立てた基金、約70億円も使用しています。市民病院には耐震性がなかったため、建て替え工事を進めています。市民サービスのためにも、この3大事業は粛々と進めさせていただきますが、人口の割に多くの公共施設を持つ平塚市には、そのメリットとともに、維持管理のための費用がかかります。4月に新設した資産経営課では、公共施設を長く丈夫に使用していくための計画に取り組んでいるところです。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

総合公園内のトイレについては、利用者の安全を配慮し、蛍光管や電球の交換などチェックにより、不具合な物は交換するなど、照度の確保に努めていますが、御意見を参考に減灯タイマーの設定を変更するなど、防犯上の観点も踏まえ、薄暗さの解消に向けた改善に努めてまいります。

また、衛生面については、屋外に設置してあることと様々な多くの方が利用されることから、常時清潔に保つことは大変難しい問題ですが、大きなイベントの開催時などは、清掃回数を増やすことで対応しています。建て替えについては、現在のところ考えていませんが、外壁や内装の塗り替え等の修繕を計画的に継続して実施することにより、明るく安心して御利用いただけるように努めてまいります。

（事務担当は総合公園課施設管理担当）

【参加者】

昔は「向こう3軒両隣」、今は「隣は何をする人ぞ」という時代になりました。高齢化社会が進んで核家族が多くなった今、高齢者の見守りなどは、自治会を中心として広く地域で支えあうことが必要です。

【市長】

独居高齢者の方や高齢者世帯が増え、行政の施策による見守りを希望するお声が増えました。そこで、今年度は家の中での動きを確認できるセンサー付きの万歩計や認知症で徘徊してしまう人をGPS機能で探す機械、オペレーターや消防につながる緊急電話を導入しました。

私は、年を取ることを決して悪いこととは思いません。高齢者の方が生きがいを持って暮らせるまちづくりが求められます。そのためにも、御自身が住む地域で医療や介護、福祉などのサービスを受けることができる体制づくりが必要です。この体制を地域包括ケアシステムといい、地域で地域を支える取り組みを進めています。

【参加者】

このほっとミーティングへの参加にあたり、どのような話をしようかと少し不安に思っていました。しかし、参加者の皆様と落合市長の素晴らしい取り組みやお話を聞いて大変勉強になりました。これまでも、中原地区には和気あいあいとした絆を感じてきましたが、地域をより良くしようという皆様の想いをとてもうれしく思いました。中原地区はこのように人に支えられています。課題は多くありますが、明るいまちづくりに取り組んでいきたいと思いました。

7 市長によるまとめ

本日は、それぞれの立場からの大変貴重な御意見をいただき本当にありがとうございました。どの方の御意見からも、中原地区を愛する想いを感じました。中原地区のまちづくりを地域の皆様の活躍によって支えていただく必要性を認識していただけていることを本当にありがたく思いました。

私も、皆様からいただいた御意見を大きく参考にさせていただき、これからも中原地区や平塚市のまちづくりに責任を持って取り組んでいきたいと改めて考えさせていただきました。

今後も、この中原地区を愛して地域の課題を捉え、地域力でまちづくりに取り組んでいただければ本当にありがたいことです。行政は地域の活動をしつかりとお支えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 18件（参加者 10件 傍聴者 8件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
1名	0名	2名	0名	10名	5名	0名

性別

男性	16名
女性	2名
回答なし	0名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	1名	2名	3名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	9名	6名	15名
市ホームページ	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	5名	1名	6名
まあよかった	5名	7名	12名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問 3 本日の対話集会のご感想や運営へのご提案等について。

回答

- ・ 進行が良かった。
- ・ PR方法を検討し、参加者を増やしてほしい。
- ・ 中原地区を絆が強いまちにしたい。
- ・ 市長から細かく説明していただき、理解できました。
- ・ このような対話は良い機会です。
- ・ 行政の現状を知ることができました。
- ・ 参加して良かった。
- ・ このような機会は増やしていただきたい。
- ・ 各種団体とのミーティングを開催してほしい。
- ・ 繰り返し、実施してほしい。
- ・ 司会が上手に進行してくれ、良い対話になった。
- ・ 地域の生の声を聞いていただきました。
- ・ 落合市長の前向きな話が聞けて良かった。
- ・ 課題の早期解決を期待しています。
- ・ 自分の住む地域の具体的な課題や問題を理解できた。